



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月28日

上場会社名 ニフティライフスタイル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4262 URL <https://www.niftylifestyle.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成田 隆志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 浅野 雄太 (TEL) 03(5937)3567  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	712	—	149	—	148	—	99	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 99百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.91	15.64
2022年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2022年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び2022年3月期第1四半期並びに2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,003	4,490	89.7
2022年3月期	4,967	4,390	88.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,490百万円 2022年3月期 4,390百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,339	21.1	1,034	10.6	1,033	13.2	711	17.9	113.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,250,000株	2022年3月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,250,000株	2022年3月期1Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大予防策であるまん延防止等重点措置が3月下旬に解除され、感染対策に万全を期すとともに、経済社会活動の持ち直しの動きも見られました。しかしながら、急激な円安の進行による物価の上昇や、物流費の高騰、変異型ウイルスによる感染症再拡大等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「想像以上を、みつけよう。」をコーポレートメッセージとして、ユーザー“一人ひとり”のライフスタイルを便利で豊かにするための「行動支援サービス事業」を展開しております。

行動支援サービス事業は、ライフスタイル領域においてテクノロジーを活用し、ユーザーの情報検討と企業の集客を支援する「行動支援プラットフォームサービス（ニフティ不動産、ニフティ求人、ニフティ温泉）」と、企業の業務DX支援を行う「行動支援ソリューションサービス（DF0、オンライン内見）（SaaS）」で構成されております。

#### ・行動支援プラットフォームサービス

現在、国内におけるプラットフォームサービスは多数存在し、ユーザーは複数のサイト上で様々な情報を閲覧することが可能な一方、適切な情報を探し出すのに時間や手間がかかる等の課題を抱えていると考えております。

当社の行動支援プラットフォームサービスでは、大手不動産サイトの賃貸物件や購入物件をまとめて一括検索できる「ニフティ不動産」、大手求人サイトのアルバイト・転職情報をまとめて一括検索できる「ニフティ求人」、日本全国の温泉・スーパー銭湯を一括検索できる「ニフティ温泉」において、ユーザー数の拡大やアプリを中心としたUI/UX（注1）の改善、パートナーとの連携強化等に取り組んでまいりました。

主力の「ニフティ不動産」では、主要アプリにおけるUI/UXの継続的な改善による送客数の増加や、売買領域の強化による送客単価上昇等により、高い売上高成長率を維持しております。

また、2022年6月末時点にて、アプリの累計ダウンロード（DL）数が前年同期比で15.0%増加し、累計889万DL（注2）、掲載物件数は約1,300万件（注3）となっており、豊富な情報と手間なく最適な比較検討の手段の提供を拡大しております。また、従来のオーガニック集客による利用者拡大に加え、ブランドマーケティングによる新たなユーザー層への認知拡大の取り組みにも着手し、繁忙期における本格展開に向けたウェブCM訴求テスト等も行っております。

「ニフティ温泉」では、まん延防止等重点措置の解除等により温浴施設を含むレジャーへの消費意欲が回復基調となったことから、ユーザー数は前年同期比で46.7%増加しております。また、トイレタリーや健康食品メーカー等と温浴施設をつなぎ、洗い場やドレスルームへの商品テスターの設置、サンプリング配布等を行う「体験型広告」の成長も継続しております。この他、より安心して温浴施設をご利用いただけるよう、施設混雑情報をホームページ及び施設内にて可視化する「混雑情報表示サービス」の普及を推進する他、全国温浴施設のランキング等のコンテンツ強化にも積極的に取り組みました。

#### ・行動支援ソリューションサービス

行動支援ソリューションサービスでは、広告運用の業務効率化を支援するSaaSツールの「DF0」や、オンライン経由での物件内見や重要事項説明等の不動産取引業務の営業DXを可能にする「オンライン内見」において、クライアント数の拡大に向けたサービスの機能強化、営業活動の強化に取り組んでまいりました。

「DF0」では、従来の大手ECサイトを中心としたクライアント獲得に加え、人材領域等のダイレクトマーケティング需要が高まる新領域でのクライアント獲得にも取り組んでおります。

子会社Tryellにおいては、不動産事業者向けSaaSツールである「オンライン内見」にて、売買物件取扱事業者

への展開を進める等、宅地建物取引業法の改正による不動産業務の電子化加速も背景に、オンライン接客やIT重説（注4）」の浸透推進に取り組んでまいりました。

これらの行動支援サービス各事業の成長推進に加え、中長期的な成長への取り組みとして新規事業投資及び広告宣伝を強化し、人材投資、M&A関連費用等に80,842千円の投資を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は712,653千円、営業利益149,584千円、経常利益148,370千円、親会社株主に帰属する四半期純利益99,465千円となりました。

- (注) 1. UI/User Interface サービスの画面表示や機能の操作性・利便性  
UX/User Experience サービス等の利用を通じて利用者が得る体験
2. 「ニフティ不動産」にて提供する、賃貸版／購入版、iOS版／Android版の以下の各アプリのダウンロード数合計のこと。
- ・「ニフティ不動産 賃貸版」iOSアプリ  
<https://apps.apple.com/app/id717072560>
  - ・「ニフティ不動産 賃貸版」Androidアプリ  
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.nifty.myhome.rent>
  - ・「ニフティ不動産 購入版」iOSアプリ  
<https://apps.apple.com/app/id866872644>
  - ・「ニフティ不動産 購入版」Androidアプリ  
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.nifty.myhome.buy>
3. 「ニフティ不動産」にて掲載する延べ物件情報数
4. IT重説は、物件契約に必要な手続きである重説（重要事項説明）をビデオ通話などで行うこと。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は5,003,612千円となり、前連結会計年度末に比べ35,842千円増加いたしました。

流動資産は4,405,207千円（前連結会計年度末に比べ22,712千円の増加）となりました。その主な要因は、売上債権の回収により現金及び預金が43,680千円増加する一方で売掛金が45,540千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は598,404千円（前連結会計年度末に比べ13,129千円の増加）となりました。その主な要因は、開発投資等によりソフトウェアが31,035千円増加した一方、償却によりのれんが10,258千円、繰延税金資産が6,946千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は513,489千円となり、前連結会計年度末に比べ63,622千円減少いたしました。

流動負債は498,875千円（前連結会計年度末に比べ63,632千円の減少）となりました。その主な要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が77,762千円、未払消費税等が21,622千円それぞれ減少する一方で、新規事業投資の推進等に伴い、未払金が33,398千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は14,614千円（前連結会計年度末に比べ9千円の増加）となり、全て資産除去債務によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,490,122千円となり、前連結会計年度末に比べ99,465千円増加いたしました。

この要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が99,465千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月6日に公表いたしました「2022年3月期決算短信（連結）」の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,891,740	3,935,421
売掛金	477,986	432,445
その他	13,220	37,792
貸倒引当金	△451	△451
流動資産合計	4,382,494	4,405,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,742	27,139
工具、器具及び備品（純額）	1,181	1,083
有形固定資産合計	28,923	28,222
無形固定資産		
のれん	135,760	125,501
ソフトウェア	264,201	295,237
無形固定資産合計	399,962	420,739
投資その他の資産		
繰延税金資産	101,030	94,084
敷金及び保証金	55,357	55,357
投資その他の資産合計	156,388	149,441
固定資産合計	585,274	598,404
資産合計	4,967,769	5,003,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	193,421	195,002
未払金	97,521	130,919
未払法人税等	128,362	50,600
未払消費税等	51,395	29,772
未払費用	35,474	43,441
賞与引当金	44,274	24,490
その他	12,059	24,649
流動負債合計	562,507	498,875
固定負債		
資産除去債務	14,604	14,614
固定負債合計	14,604	14,614
負債合計	577,112	513,489
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,000	1,250,000
資本剰余金	1,166,635	1,166,635
利益剰余金	1,974,021	2,073,486
株主資本合計	4,390,656	4,490,122
純資産合計	4,390,656	4,490,122
負債純資産合計	4,967,769	5,003,612



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	712,653
売上原価	181,298
売上総利益	531,354
販売費及び一般管理費	381,770
営業利益	149,584
営業外費用	
その他	1,213
営業外費用合計	1,213
経常利益	148,370
税金等調整前四半期純利益	148,370
法人税、住民税及び事業税	41,958
法人税等調整額	6,946
法人税等合計	48,905
四半期純利益	99,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,465

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	99,465
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	99,465
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	99,465
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間  
(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。